

# 許容スプレッド機能 -事前設定-

LION CFD 5

許容スプレッド機能を利用するには、事前に設定を行う必要があります。

※許容スプレッド機能が利用できるのは、クイック注文画面、ストリーミング注文画面からの発注時のみです。



① メニューバーを下から上に引き上げます。



② メニューの  をタップします。



③画面上部の【注文設定】をタップします。

# 許容スプレッド機能 -事前設定-

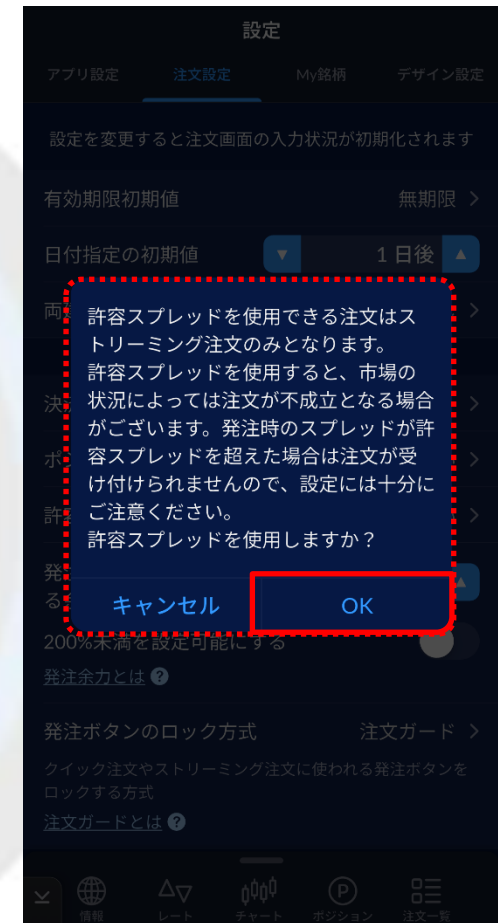
LION CFD 5



④ 「許容スプレッド」をタップします。



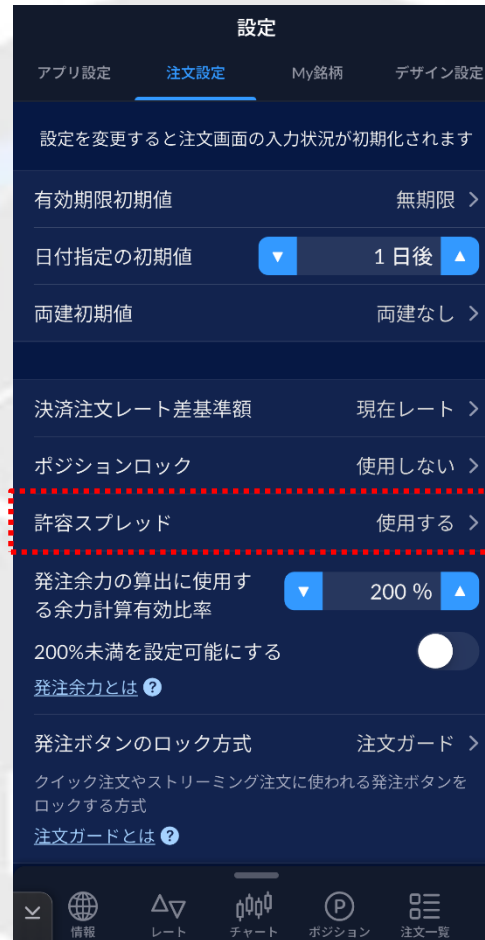
⑤ 【使用する】をタップします。



⑥ 注意事項が表示されます。  
内容をご確認、ご理解のうえ  
【OK】をタップします。

# 許容スプレッド機能 -事前設定-

LION CFD 5



- ⑦ 許容スプレッドが「使用する」になりました。  
これで事前の設定は完了です。

# 許容スプレッド機能 -スプレッド幅の設定-

LION CFD 5

許容スプレッドの機能を利用するには、「これよりも広がったら注文しない」というスプレッドの幅を指定する必要があります。注文画面上で都度指定することも可能ですが、銘柄ごとにあらかじめ指定しておくことができます。



① メニューバーを下から上に引き上げます。



② メニューの  をタップします。



③ 画面上部の【My銘柄】をタップします。

# 許容スプレッド機能 -スプレッド幅の設定-

LION CFD 5



- ④ 各銘柄の右側にある【設定】をタップします。  
※ ここでは、WTI原油の設定をします。



- ⑤ 「許容スプレッド」の右側にある入力欄をタップします。



- ⑥ 「これよりも広がったら注文したくない」というスプレッド幅をpipsで入力します。

※銘柄により1pipsあたりの金額は異なります。  
詳しくはこちらをご参照ください。→[よくある質問Q&A](#)

# 許容スプレッド機能 -スプレッド幅の設定-

LION CFD 5



⑦ 【OK】ボタンをタップします。

※ 上記の場合、USD/JPYのスプレッドが0.2銭以下なら発注する、0.3銭以上なら発注しない設定です。

⑧ 許容スプレッドに数値が設定されました。ポジション詳細を下に引っ張って閉じます。

⑨ My銘柄の画面に戻り、設定完了です。

※ 必要に応じて、取引したい銘柄ごとに設定を繰り返してください。

# 許容スプレッド機能 -発注時の挙動-

LION CFD 5

例として、クイック注文画面から発注した時に、指定した幅よりもスプレッドが広がっていた時の挙動を紹介します。



①「スプレッド」に指定した幅(pips)が表示されていることを確認します。

※ 両建、Lot、許容スリッ等も各項目をタップして設定しておきます。



②注文ガードを解除します。



③ ロックが解除され、発注が可能になりました。

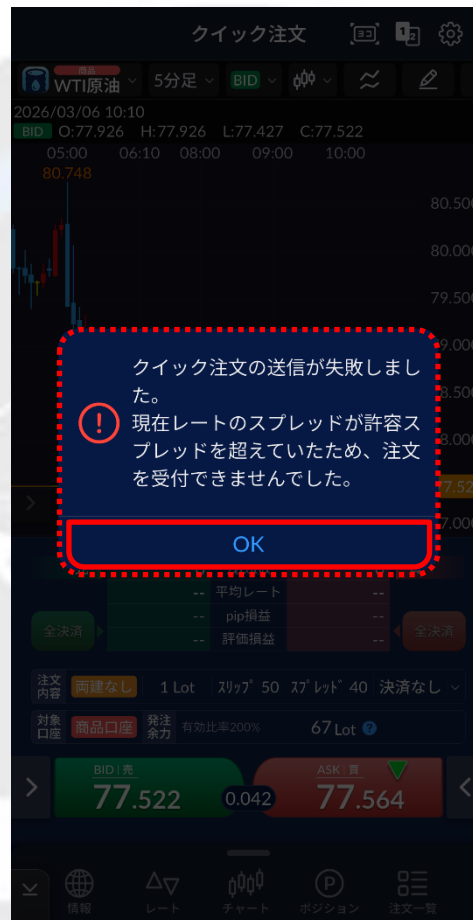
※ 売るときは > 77.505 < 買うときは < 77.554 > をタップ。

# 許容スプレッド機能 -発注時の挙動-

LION CFD 5



④ 発注ボタンをタップした時点で、指定した幅よりもスプレッドが広がっていたとします。



⑤ 注文を受けできなかった旨のメッセージが表示されますので、【OK】をタップします。



⑥ 許容スプレッド機能によって発注が行われず、希望しない条件下でのポジション保有を回避できました。